



1. 寄付金速報 — 2020-21年度のスタートは？ —

2020-21年度の寄付金は2億2,600万円、前年度と比べ約460万円の減少（普通寄付金:4.1%減、特別寄付金:3.5%増）となりました。前年との比較では減少となったものの、7月単月の寄付額を直近10年間の平均と比較すると、特別寄付金は最高額、普通寄付金でも550万

円ほど多い結果となっています。新型コロナウイルス感染症が再拡大する中であるにもかかわらず、皆様の今までと変わらぬご支援に心より厚く御礼申し上げます。

今年度も引き続きご支援賜りますよう宜しくお願いいたします。

2. カンボジアの子どもたちに読書習慣を

第2750地区（東京都）米山学友会では今年2月、カンボジアの子どもたちに本を読む習慣を身に付けてほしいと、ミニ図書館や文房具、また、サッカーボールなどスポーツ用品を小学校へ寄贈する奉仕活動を行いました。



寄贈された本を夢中になって読む子どもたち

首都プノンペンから車で1時間ほど離れた村にあるSdau Kanlaeng小学校。70年以上の歴史があり、幼稚園生から小学校6年生までの約900人が通っています。校舎が老朽化し、子どもたちは午前と午後の二部交替制で学ぶことを余儀なくされています。

2月14日、学友会を代表してカンボジアに向かった陳 瑤直前会長

（2012-14/四日市東RC）は、「コロナのため寄贈式の延期も考えたが、子どもたちの期待にどうしても応えなかった。暗いニュースが多いなか、少しでも心が温まる報告ができて嬉しい。

ロータリアンや学友会の皆さんへ子どもたちの笑顔を届けたい」と、語ってくださいました。

なお、同学友会では同月、中国湖北省の総合病院へ防護服100着と医療用マスク1,000枚のほか、義援金を届ける活動もしています。

3. 2021学年度奨学生の募集開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で576校（前年度558校）。指定校からの被推薦者数は1,894人（同1,821人）で、この中から新規奨学生約630人が選ばれます。今回、初指校は10校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、13地

区（同15地区）32校（同33校）となりました。各地区委員会では毎年、大学説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは8月7日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています。